

B006

- T: はい、えー、こんにちは。  
I: こんにちは。  
T: 【T】です。  
I: 【I (フルネーム)】です。  
T: はい、えー、1年ぶりですね。  
I: あ、はい。  
T: はい。  
お元気でしたか？  
I: え、め、元気です。  
T: はい、そうですか？  
I: はい。  
T: えーと、あの、1年ぶりなんですけど、えー、最近のこの1日の生活ってどんな生活か、ちょっと、教えてください。  
I: 最近ですか。  
T: うん、うん。  
朝起きてから、どんなふうなりズムですか？  
I: いや {笑} 〈うん〉、朝起きて 〈ええ〉、で、まず、ご飯食べ 〈うん〉 て 〈うん〉、で、すぐ家から出て、で、駅に向かって 〈うん〉、それで学校に行ってくるです 〈ほーほーほー〉。  
で、学校終わったら 〈ほー〉、バイトやってるんですよ。  
で、終わって 〈うん〉、バイト行って 〈うん〉、終わったら家に帰る {笑}。  
T: うーん。  
夜は？  
I: 夜は 〈はい〉、もう家に着けば、10時ごろなんで 〈ふーん〉、と、着けば、め、ご飯食べて 〈うん〉、んと、風呂入って寝る。  
T: ふん。  
ちょっと、マイクを、はい {マイクを直す} 〈{笑}〉。  
ごめんなさい、はい。  
あー、じゃ、も、くたくたですね。  
I: はい。  
T: {笑} わかりました、はい。  
ちょっとマイクがね、はい。  
で、えっと、今、アルバイトっておっしゃったんですけど 〈はい〉、アルバイトはいつごろ始めたんですか？  
I: とー、去年の 〈うん〉、いつだっけな 〈うん〉、え、し、え、、、 わす 〈うん〉、去年の6月くらい。  
T: 去年の6月ですか。  
はー。  
I: え。  
T: じゃ、もう1年ぐらい？  
1年以上。  
I: 1年ぐらい 〈あー〉 だと思います。  
T: そうですか、はい。  
で、どんなアルバイトか、ちょっと、聞いていいですか？  
I: あー、はい。  
と、焼肉店で 〈うん、うんうんうん〉、皿洗ったり 〈うん〉 して、です。  
T: ふーん。  
で、えーと、ま、アルバイト1年ぐらいやっていて、なんか、とっても大変だったことって、なんかありますか？  
I: 大変ですか。  
やっぱり 〈うん〉 夜遅くまでやって 〈うん〉、それが大変ですね。  
T: うーん、なるほどね。  
なんか、その、ほかにもいますよね、一緒に働いてる人。

B006

- I : あー、はい。
- T : はい。  
えー、同じぐらいの人がいますか？。
- I : いる、います〈うん〉。  
同じ学校の人もある。
- T : あ、そうですか、うん。  
じゃ、もう、楽しいことばかり？。
- I : そう〈うん〉ですね。
- T : そうですか〈{笑}〉。  
はい、分かりました。  
で、あの、えっと、アルバイトっていうとね、あの、今すごく楽しそうでもいいんですけど、ま、東京の高校では、高校生はアルバイトしてはいけないっていうね…
- I : そうですか。
- T : うん。  
そんな、あの、学校もあるんですけど、そういう意見について【I】さんは、どう思いますか？。
- I : えー。
- T : うん。
- I : どうだろ〈うん〉。  
ま、学生ですから {笑} 〈うん〉、ま、勉強に〈うん〉専念したほうがいいとは思いますが〈うん〉。  
でも、お小遣い稼ぎたいから {笑} 〈うん〉、微妙です。
- T : うん、なるほどね。  
それだし、やっぱ、いろんないい経験もできるんじゃないんですか？。
- I : あー、はい。
- T : どうですか？。
- I : そうですね。  
いろんな人に会うから〈うん〉、あと〈うん〉、いろんな世代と仲良くもできたりして〈うん〉、結構楽しいです。
- T : そうですか。  
いろんな世代と、こう、ともだ、知り合って。
- I : はい。
- T : へー、例えば、どんなとき、ほー、やはり、バイトやってみて良かったなと思ったようなことがありますか？。
- I : えっと〈うん〉、なんだ〈うん〉、うん、ま、いっぱい友だちができて〈うん〉、ま、そこが一番いい。
- T : ふーん、なるほどね。  
あの、特に今すごく親しくしている友だちいますよね、何人かね。
- I : はい。
- T : だ、誰か1人、ちょっと、思い浮かべてほしいんですけど。
- I : {笑} はい。
- T : いますか、特に親しい友だち？。
- I : はい。
- T : うーん、名前聞いてもいいですか？。
- I : 大丈夫です。
- T : うん。  
何ていう人ですか？。
- I : っと、【人名1】、【人名1】。
- T : 【人名1】さん。
- I : はい。
- T : という人は、どんな点が、その、えー、【I】さんと、にとって、あー、いい、いいやつだになっていうところはどんな点ですか？。
- I : え〈うん〉、どんな点。  
うーん、、、 {笑}。

B006

- T: じゃ、まずは、どんな人ですか？  
ちょっと、詳しく教えてください。
- I: えー、どんな人。  
面白い人〈うんうんうん〉な、ま、な、明るいし〈うん〉、まず、なんでも言えそうな感じで〈うん〉、すごく合うっていうか、ま、楽しい人です {笑}。
- T: ふーん、そうですか〈はい〉。  
いいですね。  
で、えー、もう、今、高校2年。
- I: はい。
- T: てことは、1年半経ちましたね。  
将来の夢っていうか、希望聞いてもいいですか？。
- I: 将来ですか。
- T: うん。  
高校卒業してから、どんなふうな進路…
- I: あー、まだ〈うん〉詳しく考えてないですね {笑}。
- T: 今、考えてるところで結構ですけども。
- I: で〈はい〉、まず、今まず進学しようか〈うん〉と、就職しようか迷ってるんで〈うん〉、まだ、そんなにない {笑}。
- T: うん。  
うん、でもやりたいことってどういうことですか、進学にしても就職にしても？。
- I: えー〈はい〉、やりたいこと。
- T: うん。
- I: うーん、…。
- T: うん。
- I: やりたい {笑}、特にないですね。
- T: なに、なんか、例えば専門はどういうことをやりたいのかなって、今思ったんですけど。
- I: あ、でもいちおう〈はい〉車整備の〈ほー〉仕事にはつきたいなと思って。
- T: はー、なるほどね。  
車の整備が好きっていうか、興味があるんですか？。
- I: あ、はい。
- T: え、それはどんなところから？。  
いい仕事ですよ、本当に。
- I: はい。
- T: うん。  
どうしてそこに興味が出てきたんですか？。
- I: と、最初は〈うん〉そんなに興味なかったけど〈うん〉、なんか〈うん〉、友だちとか話して〈うん〉、整備士はいいよとかいろいろ聞いて〈うん〉、で、そっから〈うん〉俺もなろうかなーと思って〈ふーん〉。  
そっから、はい。
- T: うんうんうん。  
車がもともと好きなんですか？。
- I: まあ、そんなに好き〈うん〉でもなかったかな〈うんうんうん〉、はい。
- T: その、車の整備士の面白い点っていうか、やりがいのある点でどんな点なんですかね？。  
友だちがいい仕事だよって。
- I: えー〈うん〉。  
なんだ〈うん〉、{笑}、やったことないからわかんないんですけど。
- T: ん？。
- I: やったことないから。
- T: あー、ま、ね…
- I: {笑}、わかんないですね。
- T: 面白そうだよっていう…

B006

- I : ま, はい。
- T : うん。  
 そういえば, 車っていうと, なんか, どんどんどんどん買い替えますよね。
- I : はい。
- T : わたしはもっともってね, あの, こう, それこそ整備をして〈はい〉, もっと長く使っていけばいいのに, 今の若い人は〈はい〉, すぐモデルチェンジとかしていきますよね。  
 それについてはどう思いますか?。
- I : えー〈うん〉、、、〈うん〉, うーん〈うん〉, なん…
- T : 【I】さんの意見を教えてください。
- I : えーと〈うん〉, えー、、、〈うん〉, {笑}。
- T : その, どんどん替えていっちゃって。  
 でも, 大事に車をね, 使えば〈はい〉いいと思うんですけどね〈はい〉。  
 【I】さんはどう思いますか?。
- I : えー〈うん〉。  
 でも〈うん〉, 新しい車, す, す, あの〈うん〉, 欲しいです {笑}。
- T : ほし…
- I : な, ほら〈うん〉, な, 今の車とか, すごく便利じゃないですか〈うん, うんうん〉, 昔のよりは〈うんうん〉。  
 だから〈うん〉そこが〈うん〉いいんで〈うん〉, やっぱり買いたい {笑} と思うじゃないですか。
- T : ふーん。  
 それは, もう, 若い人, 仕方がない。
- I : はい {笑}。
- T : なるほどね。  
 あの, カーナビもどんどん良くなるし〈はい〉。  
 なるほど, そうですか。  
 えっと, なんか, 前に, あの, 趣味はスポーツって聞いたんですけど。
- I : はい。
- T : ねー。
- I : 最近は何もやってないです。
- T : やってないですか。
- I : はい。
- T : でも, よく見るスポーツってなんですか?。
- I : よく見る。
- T : うん。  
 あの, テレビとかで。
- I : やっぱり野球^ですね。
- T : ほう, 野球ですか〈はい〉。  
 なるほど。  
 で, えーと, オリンピックもみ, 結構見てました, 北京オリンピック?。
- I : あー, 今年バイトで忙しかったから。
- T : 北京オリンピックどころじゃ…
- I : あんまり見なかったです。
- T : なかったですか {笑}。  
 そうですね。  
 野球ね, なるほどね。  
 ま, 日本もいろいろあ, 問題あったんですけどもね。  
 野球のルールっていうのを, ちょっと, もし中学生に分かりやすく, あの, やったことがない国のね, 人とかに, ま, あの, がいるとして〈はい〉, えー, 教えるってどんなふうに, ちょっと, 野球のルールをわかりやすく, 詳しく教えてください。
- I : わかりやすく。

B006

T: はい, お願いします, はい。

I: えっと (はい), まず1チーム [ひとチーム] 9人で (はい) やるスポーツで (はい), それに2チーム [ふたチーム] でやって, でそれを, 球を投げて (うん), 投げた球, 打って, で (うん), 取ったり走ったりして (うん), ホームで, ベースが4つあるんで (ほーほーほー), それを1周すれば1点取れるんで (うん), それを9回までやって (うん), で, 多く点取ったほうが (うん) 勝ちっていうスポーツです。

T: なるほど。  
わかりました。

えーと, 野球の魅力って, 面白い点はどんなところですか？。

I: えーと (はい), ま, 最初の1, 2回とかって (うん), 点数が離れてるも (うんうんうん), あとになって追いついて (うん), 逆転して, で, そこが好きです。

T: うーん, いいですね。

I: はい。

T: なるほどね。

はい, 野球のね, そういうところね。

で, あの, わたしもすごく面白いと思うんですけど, 高校野球も面白いですよ。

I: はい。

T: だけど, そこから, その, すごいお金でプロ野球引っぱり張ったりしますよね (笑), 高校生の, 高校生。

I: はい。

T: それについてはどう思いますか？。

I: それ (うん), (笑), すごいと思うす。

T: わたしはちょっと行き過ぎかなと思うんですけど (はい), どうですか？。

I: うん。

もう, おれも最初はそう思ったけど (うん), でも (うん), ま, それなりの努力して行ったんで (うん), いいかな (うーん), 別にいいかなと思います。

T: ほー, そうですね。

I: はい。

T: なるほどね。

わかりました。

でも今は野球をする時間はない。

見るいっぽ…

I: はい。

まあ, バイトでくたくたでなんも動きたくないです。

T: あー, なにもしたく (笑)。

ほー, そうですね。

でもバイトで, えー, バイトでお金が, お, か, まあ, 自由にというか少し貯まりますよね, お小遣い。

I: はい。

T: 何かやりたいことがあるんですか？。

使いたいものが。

I: あー, それ, 親に免許取るといに使えって言われたんで。

車…

T: 車の？。

I: はい。

T: ほーほーほーほー。

I: いま貯めてます。

T: そうですね。

でも, そういう目的があるといいですね。

I: はい。

T: へー, そうですね。

なるほどね, はい。

で, あの, そういえば今日が29日で, 明日盆踊りですよ。

B006

- I : あ, あ, はい (くん, うん), そうです。
- T : 盆踊りはいつも出てるんですか？。
- I : いつも出てるけど。
- T : はー。  
 ちょっと, わたし, その, 【地名1】の, その, 盆踊りって, まだ見たことないんですけど (はい), どんな感じなんですか？。  
 ちょっと, 説明していただけますか？。
- I : えー (うん)。  
 まず (うん), いろんなところから人が来て, ほかの町とかも, なんか, いろいろな人来て (うん), で, なん, やだい [屋台] とかで (うん) くい, 食べ物た, 買って (うん), 食べて (うん), あと踊ったりして (うん)。  
 あと, ま, 友だち作ったりしてるかな, {笑}。
- T : ふーん, なるほどね。  
 盆踊りの一番面白い点ってどういうところですか？。
- I : 盆踊りですか？。
- T : 友だちとしゃべることですか, うん？。
- I : うん, まー, おれはそこが一番楽しみになってる。
- T : ふーん。  
 でも, 学校でも友だちといろいろ遊んだりしますよね。
- I : あー。
- T : どこが違いますか？。
- I : えー, 違い。
- T : やっぱり踊ること？。
- I : あー, でも, 踊らないんで (ほーほーほーほー)。  
 なんか, 周りの雰囲気が楽しいから, ま, ふ, 普段以上に楽しいと思ってるかな。
- T : ふーん {マイクが外れる}。  
 あ, 落ちてしまいましたね。  
 なるほどね。  
 ちょっと, いいですか。  
 マイクをね。  
 はい, はい。  
 はー, 雰囲気がいい。
- I : はい。
- T : はー, じゃ, 楽しみですね。
- I : はい。
- T : 準備とかも一緒にするんですか？。
- I : あ, 去年はした, しました。
- T : ふーん。  
 どんなことしたか, ちょっと, 教えてください。
- I : と, 去年は, あの, わたあめ作る機械とか運んだりして (はー), あと風船とか膨らましたりも手伝いました。
- T : あー, そうですか。  
 みんなで一緒にやるって楽しいですよ。
- I : {笑}, はい。
- T : わたあめも作りました？。
- I : 作りました。
- T : あれ難しいって聞いたんですけど。
- I : え, でも, 案外できますよ。
- T : コツってなんですか, こう, うまくやる？。
- I : え？。

B006

- T : わたし上手くできないんですよ、あれ。
- I : コツですか {笑}。
- T : なんかね、こう、なんか、すぐにぺちよんとなったり {笑} <{笑}>。  
どうですか？。
- I : えー、も、ま、最初は <ええ> うまくいかなかったけど、ま、やってるうちにうまくなります。
- T : そうですか？。
- I : はい。
- T : へー、わたあめね <{笑}>。  
そうですか。  
いいですね、はい {笑}。  
で、ま、あの、ほんと、明日はね、あの、楽しみなんですけど、あの、えー、アルバイトやって、いろいろいそが、勉強もあって忙しいと思うんですけども、やっぱテレビ見る時間はありますか？。
- I : テレビですか。
- T : うん。
- I : あんま、あー、でも <うん>、バイトない日とか <はーはーはー>、そのまま帰って。
- T : そうですか。  
よく見てるドラマってありますか、最近。
- I : 最近見てないですね。
- T : うんうんうん。  
でも、なんか、最近ていうか、ちょっと前でもいいんですけども、面白かったドラマとかありませんか？。
- I : それは、前の <うん>。  
えー、もう、結構見てない。  
忘れたんです。
- T : 見てない。  
映画はどうですか？。
- I : 映画は…
- T : ビデオとかで映画は。
- I : 映画は <うん>、も見てないですね。
- T : ふーん。
- I : うん、見てないです。
- T : うんうん。  
ドラマも映画も。
- I : はい {笑}。
- T : はー。  
本とかはどうですか？。  
アニメでもなんでもいいんですけど、漫画。
- I : 本。
- T : うん。
- I : 漫画…
- T : 漫画は。
- I : \*、いろいろ見ます。
- T : 目にするんですか。  
えっと、すごく面白い漫画ってどんなのがあるんですか？。
- I : え…
- T : うん、1つだけ教えてください。
- I : と <うん>、、、と、、、 <うんうん>、『ナルト』っていう…
- T : 『ナルト』、あー。  
名前だけは聞いたことあるんですけど、ちょっと、それについて教えてもらえますか？。
- I : はい。  
と、なんか、忍者の話なんで <はい>、と、その、にん、主人公が <はい>、ナルトっていう人で <はい>、

B006

で、その人が、なんだ、、、、すごい〈はい〉落ちこぼれだったんですよ〈うーん〉。

で〈うん〉、同じ年にエリートっていうか〈うん〉、で、なんか、すごい、いちよ、なん〈うん〉、頭のいい人〈うん〉いるんで、で、なん、ライバル心わみたいな〈うん〉、ずっと燃やしてて〈はい〉、で、それでどんどん2人とも強くなっていった話。

T: うーん。

最後どうなるんですか？。

I: あ、最後。

まだつ…

T: あ、続いているんですか。

I: 続いているんで。

T: あー、2人がライバル心を燃やしている、はーはーはーはー、はー。

と、とくに、その、ふ、もばやした、その、ストーリーがおもしろいんですか？。

I: ストーリー、あ、ストーリー。

T: うーん。

じゃ、なんか、その、2人が、こう、やっている、エピソードっていうか、なんか1つ、1つお話、こんなことがありましたってありますか？。

I: エピソードですか。

T: うん。

なんか、どんな、その、戦いがあったんですか？。

I: あ、その〈うん〉、エリートの〈うん〉人が、ちょっと、なんだ〈うん〉、親を殺した敵 [かたき] をとる〈はい、はいはい〉。

とりたくて、で〈うん〉、力を手に、つ、強くなりたいと思って、で、なんか、裏切ったんですよ、うん、仲間を〈うんうんうん〉。

で〈うん〉、それを、戻ってきてほしいって、あの、主人公が思ってた〈うん、うん〉。

でも〈うん〉強くなりたいから〈うん〉、で、い、やっぱり離れて〈うん〉、で、それを止めようとして〈うん〉、で、2人戦って〈うん〉、で、ま、そこ、\*\*\*。

T: ふーん。

なるほどね、えー。

それが面白かった。

I: はい。

T: ふーん、なるほどね。

でも、こう、ね、最後どうなるかわかりませんが、たぶんどうなるって思ってますか？。

I: えー〈うん〉。

T: たぶん。

I: たぶん、どうだろ。

T: もしも、あの、【I】さんが作っていいっていったらどんなふうな、す、エンディング、最後にしますか{笑}？。

I: でも、最後はやっぱり、ハッピーエンドに、で終わってほしいので〈はい〉、また仲良くなって、終わってほしい。

T: そのためにはどんな仕掛けがあったらいいですかね〈{笑}〉、ハッピーエンドにするにはね {笑} ？。

I: えー。

T: うん。

なるほど、ハッピーエンドがいい、うん。

I: なんだ、{笑}、難しい。

T: どうしたらいいですかね、うん？。

I: えーと〈うん〉、{笑}、えー、、、。

T: 例えば。

I: {笑}、おもいつかないっす。

T: そうですね。

ただ、ま、ハッピーエンドにしたいっていう…

I: はい。



B006

- T: ことですよね。  
なるほどね。  
うん。  
でね、今そうやって仲間、たぶんハッピーエンドで、いい友達で、になって終わると思うんですけど、最近ね、一人ぼっちで友だちがいないからっていうんで、秋葉原の、なんか、事件ありましたよね。  
あの…
- I: あー、はい。
- T: 誰でもいいから刺してしまっって。  
もう、ほんとに寂しい。  
自分は誰も、みんな構ってくれないっていう。  
ああいう若い人がね、増えていますよね。  
あの、【I】さん、ほんとに友だちがたくさんいて、すごく幸せだけど、その一人ぼっちっていう、こういう人が増えているのは、どう思いますか？
- I: えー〈うん〉、えー〈うん〉、、、、どうだろう。
- T: うん、例えば、あの秋葉原のり、事件ね。  
うん〈うん〉、どうですか？
- I: どう〈うん〉、、、。
- T: どうやったら、こう、仲間を作ることができるんでしょうね？  
一人ぼっちになってしまわないで。
- I: はー〈うん〉、、、、うん {笑}。
- T: どうですか？
- I: どう〈うん〉、うん、、、。
- T: はい〈{笑}〉。  
ちょっと難しいですね、はい。
- I: はい。
- T: ただ、あれはびっくりしましたよね。
- I: はい。
- T: どうですか？  
びっくりしませんでした？
- I: はい〈うん〉。  
なんで…
- T: なんで。
- I: 寂しいからってひろ〈うん〉、人を殺すかなって思った。
- T: ですよ。  
考えられないですよ。
- I: はい。
- T: ほんとに、あれは、学校が悪いんですかね、教育が？  
それとも家庭ですかね？
- I: どうと〈うん〉、え〈うん〉、両方…
- T: 両方。
- I: かな、{笑}。
- T: そうですね。  
ちょっとね、考えられない事件でしたね。  
はい。  
あの、えー、ここから、ちょっと、ロールプレイをしたいんですけど〈はい〉、いいですか？
- I: {笑}、はい。
- T: えーと、【I】さんは自転車に乗りますか？
- I: はい、乗ります。
- T: 乗りますか。  
えーと、で、ここだと【地名1】駅、ありますね。

B006

- I : はい。
- T : えーと、ちょっと、これを、えーと、読んでください。  
えー、声を出して読んでください。
- I : はい。  
あなたは駅の前に自転車を置いておき、置いておきましたが、今、見当たりません。  
警察に行って、話をしてください。
- T : はい〈{笑}〉。  
じゃ、これは、あの、【地名1】駅の駅前に自転車置いといたんですけど、ないです。  
で、警察に行って、わたし警察の人です {笑}。
- I : はい。
- T : 話をしてくださいね。
- I : はい。
- T : その、【I】さんの自転車のね、こと、いいですか？。  
はい。  
えー、どうしましたか？。
- I : あの、自転車、えきま、駅に置いた自転車なくなっただけですけど〈はい〉、ちょっと、探してほしいんですけど。
- T : えーと、そうですか。  
駅のどのへんに置いてましたか？。
- I : 駅の、な、奥のほうにとめてあったんで。
- T : あ、そうですか。  
え、いつごろですか、その、とめたのは？。
- I : え、昨日、学校終わって帰るときに〈うん〉、す、す、が、とめて、そのまま帰って〈うん〉、きょう朝見たらなかったの。
- T : あ、そうですか。  
{ブレス}、いや、奥のほうですね？。
- I : はい。
- T : えーと、すみません。  
どんな自転車か、ちょっと、詳しく言ってもらえますか？。
- I : あ、シルバーの〈うん〉、と、チュタが〈うん〉付いて、【学校名】で書いて〈ふんふん〉、赤い〈ふん〉シユタで〈ふん〉、あとさんじばんでついて。
- T : ほーほーほー。
- I : それ。
- T : なんか、前とか後ろに、こう、かごとか、なんか、ちょっと、特徴ありますか？。  
かごがあるとか。
- I : かごはあるけど〈うん〉、特徴は特にないです {笑}。
- T : わー、そうですか。  
えーと、防犯登録はどうですか？。
- I : してるかな {笑}。
- T : どうですか？。
- I : あー、わからないんです。
- T : そうですか。  
えーと、わかりました。  
えーと、それじゃ、あのですね、あの、こちらのほうから、えー、連絡しますので〈はい〉。  
ちょっとしら、あの、本部に聞いてね。
- I : はい。
- T : えーと、れんら、お名前と連絡先教えてください。
- I : えっと、【学校名】高校の【I (フルネーム)】です。
- T : はい、はい。  
で、えーと、じゃ、電話番号聞いていいですか？。

B006

はい、電話番号お願いします。

I : 電話番号ですか。

【電話番号】、ん、【電話番号】です。

T : あ、そうですか。

わかりました。

じゃ、見つかったら、えー、ご連絡しますね。

はい、どうも、はい。

I : お願いします。

T : はい。

えーと、これでロールプレイ終わりますが、えー、こんなふうに自転車を、が、なくなっちゃったってことありますか、経験として？。

I : ないですね。

T : ないですか。

いいですね。

東京はね、しょっちゅう、なんか、とられちゃったり、いろいろなことがあるんですけど。

I : あー、でも友だちとかあったん、ら、あったんです。

T : あ、そうですか。

I : はい。

T : そのとき出てきました？。

I : あー、出てきた人と出てきてない人がいる。

T : あ、じゃ、何人もいるんだけれども〈はい〉【I】さんは一度も経験がない。

I : ないです。

T : 幸せですね {笑} 〈はい {笑}〉。

はい、えーと、あの、これで、あの、インタビューは終わりますけれども、今日はこれからどうなさいますか？。

I : あ、もう、今日、帰ります。

T : 帰って、はい〈はい〉。

あ、バイトは今日は？。

I : 今日はないんです。

T : ないんですね。

はい、どうもありがとうございました。

I : ありがとうございます。